

＜ 情報 ＞ 科学習シラバス

科 目		情報 I	学年・類型	1 年生	単位数	2 単位	教科書	改訂版 情報 I Next (数研出版)		
学習の到達目標			情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。							
評価の 観 点	A 知識・技能			B 思考・判断・表現			C 主体的に学習に取り組む態度			
評 価 の 内 容	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。			事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。			情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。			
評 価 の 方 法	・単元小テスト ・タッチメソッド ・提出作品 ・課題の記述内容 ・定期考査			・単元小テスト ・提出作品 ・課題の記述内容 ・定期考査			・授業への取組方 ・振り返りシートの記述内容 ・課題の記述内容			
学期	月	単元名・小単元名		学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点		
1 学 期	4	第1編 情報社会の問題解決 第1章 情報とメディア		オリエンテーション 1 情報と特徴 2 情報とメディアの特性 3・4 問題解決(1)(2)				○ ○	○ ○	○ ○
	5	第2章 情報社会における法とセキュリティ		5 情報社会 6 個人情報 7 知的財産 8 著作権 9 情報セキュリティ 10～12 情報セキュリティ対策(1)～(3)				○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	6	第3章 情報技術が社会に及ぼす影響		13 情報技術の発展(1) 14 情報技術の発展(2) 15 情報技術の適切な活用(1) 16 情報技術の適切な活用(2)				○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○
	7	第2編 コミュニケーションと情報デザイン 第1章 情報のデジタル表現		17 デジタル情報の特徴 18～20 デジタル情報の表し方(1)～(3)				○ ○	○	○
2 学 期	8・9	第2章 コミュニケーション手段の発展と特徴		21～23 デジタル表現(1)～(3) 25 コミュニケーション手段の発達 26 情報の発信とメディアの性質				○ ○	○ ○	○
	10	第3章 情報デザイン 第3編 コンピュータとプログラミング 第1章 コンピュータのしくみ		27 情報を表現する方法 28 効果的な情報デザイン 29 プレゼンテーションの流れ 30 プレゼンテーションの注意点 31 ハードウェア				○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○
	11	第2章 プログラミング		32 ソフトウェア 33 論理回路 34 コンピュータでの数値の内部表現 35 アルゴリズム 36 プログラミング言語				○ ○ ○	○	○
	12	第3章 モデル化とシミュレーション		37～40 プログラミング(1)～(4) 41 モデル化 42・42 シミュレーション(1)(2)				○	○ ○	○
3 学 期	1	第4編 情報通信ネットワークとデータの活用 第1章 ネットワークのしくみ		44 コンピュータによる通信 45 通信プロトコル 46 バックet通信				○ ○ ○		
	2	第2章 データベース		47 IPアドレスとドメイン名 48 WWWと電子メール 49 情報の暗号化 50 データベース 51 社会における情報システム				○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○
	3	第3章 データの分析		52 さまざまなデータ 53 データの収集と整理 54～56 データの分析(1)～(3)				○ ○	○ ○	○ ○
学習のポイント		・授業に一生懸命取り組むことが、学習の効果を向上させる。 ・日常でスマートフォンなどのデジタルデバイスを使用する際にも、情報リテラシーの概念を実践する。								